



豊かな自然に、ひと、もの、まちが輝く健康都市、網走

市議会だより

第108号
(令和4年8月)

発行／網走市議会 編集／網走市議会広報委員会



天文台から見た土星

【もくじ】

- トピックス……………2～3 P
- 一般質問……………4～6 P
- 議案の審査結果……………7 P
- 文教民生委員会での
所管事務調査について……………8 P

市民のみなさまの傍聴を
お待ちしております。

次の定例会は9月6日(火)
～9月27日(火)開催予定です。

※詳細につきましては、議会事務局へ
お問い合わせください。

■問い合わせ

TEL 44-6111
(内線281・282)



中継ホームページはこちらから

UD FONT

本紙は、見やすさや読みやすさを配慮したユニバーサルフォントを
採用しています。

スポトレ天文台にて(平成28年8月 桑野 真行氏撮影)

6月定例会のトピックス

第2回定例会概要

第2回定例会は6月14日～23日まで開催されました。

開会にあたり市長から行政諸般の動向など挨拶がありました。農業は昨年と比べ降雪量は多かったものの、春先の好天に恵まれ、例年通り4月15日から農作業が始まり生育状況も順調です。漁業は沖合底引網やホタテ立網漁業等3月中旬から始まり、5月末までの漁獲状況について対前年比で漁獲量・金額の順に、網走港全体108%・110%、能取湖140%・93%、網走湖のシジミ漁については産卵不振が続き、生産期計画を昨年よりも150t減の400tにしています。

観光は新型コロナウイルス感染症拡大前には及ばないものの、令和3年度の観光客入込数・宿泊者数、また流水

観光船おーろら号の乗客数等いずれも前年を上回りました。建設工事は対前年比24%と例年並みの発注となっており、その他様々な動向が報告されました。

次に一般会計14億7667万円の追加補正予算、網走市条例の一部改正等が上程され各常任委員会に付託されました。

総務経済委員会では新庁舎建設に係る整備費として12億5660万円、保健衛生総務費の水道事業会計出資金7050万円、農業振興費のジャガイモ

シロシストセンチュウ緊急防除事業2692万円、その他商工費や土木費等追加補正予算の審査を行いました。

また条例については最近の網走港における小型船舶・プレジャーボート等の危険な航行や水難事故の防止を図るため「網走市網走港の安全な利用の確保に関する条例制定」と地方

税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、わがまち条例の創設で「網走市都市計画税条例の一部改正」等を審査、可決と決定しました。

文教民生委員会では健康管理費として4回目の新型コロナウイルスワクチン接種事業8132万円、小学校施設整備費の潮見小学校給水設備改修事業2430万円、市民活動費として特殊詐欺や悪質商法へ

の注意喚起を行うため消費生活相談事業159万円の追加補正予算を審査しました。その他「網走市こども医療費助成に関する条例及び網走市重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正」等を審査、可決と決定しました。

その他、両委員会では付託された請願4件、陳情5件が審査され「2023年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願」等2件の請願を採択、3件の意見書案が原案可決されました。

6月21日からは一般質問が行われ10名の議員が質問しました。（4頁以降掲載）

最終日の6月23日には北海道の「子育て世帯臨時特別給付金一人

1万円支給」の補正予算910万円が追加上程され、原案可決されました。

また、任期満了となる本市公平委員及び固定資産評価審査委員会委員の再任に同意すること、友好交流都市厚木市へ議員を派遣することが決定されました。



多くの市民に傍聴していただきました。

トピックス

第3回臨時会概要

4月25日、第3回臨時会が開催され、防災備蓄品に対する補助金200万円、中心市街地活性化対策として店舗改修等補助金300万円、新型コロナウイルス感染症予防対策としてスクールバス増便に係る経費1,602万円、感染した被保険者への傷病手当金の経費追加177万円を審査しました。

また、令和4年度農業担い手応援資金利子補給契約に係る債務負担行為の補正、網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の一部改正、国民健康保険・介護保険条例の一部改正、市税条例の一部を改正に係る専決処分など審査可決されました。

第4回臨時会概要

5月20日、第4回臨時会が開催され、水産加工業振興事業、施設の改修に対する補助金1億240万円、新型コロナウイルス消費喚起対策事業、プレミアム付商品券事業4億861万円、住民税非課税世帯等物価高騰緊急支援事業5,612万円、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業4,520万円などが審査可決されました。

※可決された補正予算については下記のとおりです。

○第3回臨時会(4月25日)

事業名	概要	予算額
地域防災備蓄品整備事業補助金	防災備蓄品整備に対する補助金	200万円
空き店舗・空き地活用事業補助金	店舗改修等に対する補助金	300万円
スクールバス密集対策事業	スクールバス増便に係る経費	1,602万円
傷病手当金	新型コロナウイルス感染症に感染した被用者への傷病手当金	177万円

○第4回臨時会(5月20日)

事業名	概要	予算額
水産加工業振興事業	施設の改修に対する補助金	1億240万円
プレミアム付商品券事業	13,000円券を10,000円で販売	4億861万円
生活困窮者自立支援金支給事業	生活困窮者へ支援金を支給	181万円
住民税非課税世帯等物価高騰緊急支援事業	対象世帯に13,000円の助成	5,612万円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	対象世帯へ児童1人あたり50,000円の給付	4,520万円

一般質問から

2023年インターハイ
ボート競技について

志誠会 古田 純也



問) 網走湖で36年ぶりに開催、準備状況は。

答) インターハイの競技基準を満たすB級コース公認取得の為、コースを4レーンから5レーンへ増設するなどの整備を行うほか大会本番の会場仮設物等の設計・配置計画を進めているところです。

問) 老人クラブ運営については。

答) 網走市社会福祉協議会と連携し、老人クラブの認知度向上を目的とした魅力ある活動の展開や町内会等の地域組織と連携したPRなどに加え、新たな活動に取り組む必要性など検討して参りたい。

問) DXを活用したタウンミーティングは。

答) 現在、DX推進にあたり、オンラインによるアンケートや、公式LINEを活用した新たな情報収集、提供の構築に取り組んでいるところであり、リアルとデジタル、それぞれの強みを生かしながら、デジタル環境を整備してまいります。

低出生体重児にリトル
ベビーハンドブックを

公明クラブ 澤谷 淳子



問) 小さく生まれた赤ちゃんには母子手帳の他に成長記録を付けられるリトルベビーハンドブック(小冊子)を独自で発行している自治体があるようです。近年、当市に生まれた赤ちゃんの出生数と、その中で低出生体重の赤ちゃんはいたのでしょうか？

答) 令和元年から3年間の総出生数は562人です。そのうち低出生体重の赤ちゃんは2500g未満50人、1500g未満は9人でした。

問) 北海道では苫小牧市のみがこの小冊子を配布しています。母子手帳は身長40cm・体重1000g以上から記録できますが小さく生まれた赤ちゃんはゆっくり成長するのでそれに合わせた小冊子を当市でも作成してほしいです。

答) 今、札幌の母親グループが「北海道でリトルベビーハンドブックを発行してほしい」と要望しているので動向を注視しています。当市では独自作成しませんが今後も保健師がしっかりご家族のフォローに努めて参ります。

女性の健康支援、健康
経営の推進、带状疱疹

公明クラブ 永本 浩子



問) 女性特有の月経関連疾患や更年期障害の正しい知識の啓蒙が必要。取り組みは。

答) 年3回の定期健康相談の一つに女性の健康をテーマに設定。市広報紙中のヘルシー講座の活用。セミナーや講座の開催も検討する。

問) 女性活躍のための環境づくりの推進を。

答) テレワークや休暇の整備、シフト制度の改善を図り、社員研修等でも取り上げたい。

問) 市内企業の「健康経営」の浸透度は。

答) 労働実態調査で健康経営に取り組んでいたのは49事業所で18%。健康経営優良法人認定事業者は大規模法人1、中小企業9法人。

問) 高齢者の見守りで協定を結んでいる民間保険会社と健康経営推進の協定も必要では。

答) 取り組み事項等を検討していきたい。

問) 带状疱疹治療薬の早期服用の啓蒙を。

答) リーフの設置や市広報紙で情報を発信。

問) 带状疱疹ワクチン接種への助成を。

答) 国の動向を注視し医師会等と相談したい。

学校給食について
温暖化対策について

日本共産党議員団 村椿 敏章



問) 物価高騰による給食費の影響は。

答) 今年度から1食25円を値上げした。

問) 給食費に地方創生臨時交付金の活用は。

答) 他市の状況も見ながら検討する。

問) 親子給食で、ラーメンが伸びてしまうのでは？ 自校給食と同じか。

答) 麺を茹で、水でしめて、玉にして運搬。到着後につゆと麺を合わせる。調理場によって方法も違い、自校給食とは一緒ではない。

問) 網走市が今年策定する地域再生可能エネルギー導入戦略におけるあばしり電力の位置付けは？

答) 大きく関わることから、関係機関と協議しながら盛り込んでいく。

問) あばしり電力は太陽光パネルを増やすか。

答) 得られた利益は、脱炭素化に向けた取組にあてる。順調に進めば、事業拡大をする。

問) なぜ固定価格買取制度を採用しないのか。

答) 安定した電力を供給するためにFIT制度は採用せずに、電力の地産地消をすすめる。

一般質問から

コロナ禍の学校教育、 農業振興について

志誠会 立崎 聡一



問) コロナ対応の一つのマスク着用対応は。

答) 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を対応している。

問) 緊急時のICT教育の実践と今後は。

答) ICT教育は教員、学校間に温度差はあるものの今後も研修や研究への支援を行う。児童生徒は自分のペースで進められることから好評。今後情報モラルの指導が重要となる。

問) 森林整備状況、鳥獣対策状況は。

答) 森林経営計画への参画を促し適正管理を進める。鳥獣対策は引続き有害駆除等を実施。

問) 農業用生産資材の高騰対策は。

答) 国は本年度100億円の「化学肥料原料調達支援緊急対策事業」を実施する。国の動向を注視。「みどりの食料システム戦略」を策定、化学肥料2割削減化学農業1割削減を目指す。

ごみ最終処分場ひっ迫 延命と原因究明早急に

志誠会 近藤 憲治



問) 生ごみへのティッシュ類の混入可能など現在のごみの分別ルール自体が市民に理解されづらいものなので改善が必要と考えるが。

答) 収集、処理方法について改めて検討することが必要と認識。今後、懇話会の議論を踏まえ、市民の皆さまの御理解を頂きながら、改善に向けて検討を進めていきたい。

問) 生ごみの堆肥化の停滞に関し、市民の分別協力率は89%と高いのに処理が進まないのは導入時の判断に問題があるのでは。

答) 生ごみの破袋処理が機械処理の停止により間に合わず、大部分が埋め立て処理に回ってしまったことは性能評価に課題があった。

問) 当初の処理計画に無理があったことが、最終処分場ひっ迫の要因のひとつ。認識は。

答) 生ごみ残渣数量の把握の仕方、分別の理解度が足りず進んでいない、そこは反省すべき点。計画通りの数量にはなっていないという結果は現実を受け入れたいと思います。

インボイス制度導入は 事業者への影響が甚大

日本共産党議員団 松浦 敏司



問) 来年10月からインボイス制度がスタートする。年間売上1000万円以下の免税事業者が対象だが、影響について伺う。

答) 課税事業者の場合は、免税事業者との取引は仕入税額控除ができないため、免税事業者のままの場合、課税事業者から取引を敬遠され、売上が減少することが考えられる。

問) シルバー人材センターと会員も課税の対象となるが、市の関連施設の影響を伺う。

答) シルバー人材センターの会員が行っている業務は事業主として請負となり就業している。市は施設の清掃や管理など36業種、92人が就業。インボイス制度導入後は、会員が適格請求書の発行事業者にならないと想定される。結果として仕入れに係る消費税を控除できなくなり、センターの納める消費税が発生する。センターは公益社団法人であり、営利目的とした法人でなく消費税を納めることが困難だ。国の動向に注視する。

漁業の担い手支援に ついて

同志会 小田部 照



問) 漁業が将来に渡り持続的に発展していくため、新規就労者を安定的に確保し漁業への定着を図ることが重要。ホタテ漁船団については、操業がない冬季間に市内の除雪作業など地元企業の仕事に繋ぐことや、遠方からの就労者に市営の住宅などを活用し住居面のサポート等も可能と考える。また、漁業について知ってもらうための情報発信も必要と思われる。今後の支援への見解を伺う。

答) 操業期間終了である冬季就労のあっせんや、漁業就労に関する情報発信のための説明会の開催、住居確保などのサポートについて各関係機関と連携し、漁業就労者の確保に向けて努力してまいります。

※その他、2項目について質問した。

○子供達が生涯にわたり豊かなスポーツライフを実現するため、各種少年団活動、運動部活動の持続可能な在り方について。

○带状疱疹ワクチンの助成制度について。

一般質問から

ウクライナ支援
人口減、子育て支援

同志会 石垣 直樹



問)ウクライナ支援について、エルトゥールル号を例に次世代へ誇れる網走へ。

答)人道危機救援金の受付を市ホームページで周知すると共に、庁舎内に募金箱を設置中。当市滞在を希望するウクライナ避難民については、移住施策として実施している「お試し暮らし事業」の枠組みを利用し、民間アパートや市営住宅などの空き家の提供、生活に必要な家電や家具などを貸与することを北海道に対して申し入れている。

問)近年の出生数と人口動態について、兵庫県明石市を例に子育て支援から対策を。

答)人口減対策として総合政策を長期的指針に、各年度予算を短期的指針としている。人口減の要因として網走刑務所刑務官523人の減、私立大学入学定員厳格化による農大生187人の減によるものが挙げられる。出生数は令和元年184人、令和2年201人、令和3年177人と減少傾向。

ゴミ処理の広域化について

無会派 栗田 政男



問)広域で中間処理(焼却)を検討する話は、どのような経緯で出てきたものなのか？

答)当市がオムツ等の処理をお願いしている大空町の施設の更新にあたり、広域で実施する検討をしてほしいとの要請によるもの。

問)今回のゴミ処理の広域化は積極的に推進すべき。ゴミ問題だけでなく教育・医療などの広域連携は人口減少の中で避けて通れない課題である。今後の進め方と考え方は？

答)今後は大切な課題として随時検討していく。



議会だよりの表紙写真を募集しています！

議会だよりは、5月、8月、11月、2月の年4回発行しています。

市民の皆さまに「議会だより」を身近に感じていただこうと、表紙の写真を公募しています。網走らしい季節ごとの風景やイベント、産業など皆さまの心に残る網走を切り取ってぜひお送りください。

応募の詳細については、網走市議会ホームページを御覧ください。

皆さまの力作をお待ちしております。



コロナに負けず 今年は元気に運動会！（中央小）

議案審査結果

第3回臨時会の議決結果について（4月25日）

○全会一致で決定・可決した議案

議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和4年度網走市国民健康保険特別会計補正予算

議案第3号 網走市常勤の特別職に属する職員の給与に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第4号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

議案第5号 網走市介護保険条例の一部を改正する条例制定について

報告第1号 網走市税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について

報告第2号 網走市都市計画税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について

第4回臨時会の議決結果について（5月20日）

○全会一致で可決した議案

議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算

第2回定例会の議決結果について（6月14日～ 6月23日）

○全会一致で決定・可決した議案

議案第1号 令和4年度網走市一般会計補正予算

議案第2号 令和4年度網走市水道事業会計補正予算

議案第3号 網走市子ども医療費助成に関する条例及び網走市重度心身障がい者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第4号 網走市議会議員及び網走市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第5号 網走市税条例及び網走市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例制定について

議案第6号 網走市税条例の一部を改正する条例制定に係る専決処分の報告について

議案第7号 網走市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

議案第8号 網走市網走港の安全な利用の確保に関する条例制定について

議案第9号 財産の無償貸付について

議案第10号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

議案第11号 令和4年度網走市一般会計補正予算

議案第12号 網走市公平委員会委員の選任について

意見書第1号 2023年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出について

意見書第2号 2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出について

意見書第3号 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書提出について

請願第31号 2023年度地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての請願

請願第33号 2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書提出についての請願

トピックス

ごみ処理計画「行きつまり」の原因究明
危機的状況の最終処分場の「延命」に向け
文教民生委員会が所管事務調査を実施

当初15年間とされた使用期間がこのままでは8・9年間で満量となる最終処分場の危機に端を発し、廃棄物処理政策を所管する文教民生委員会（松浦敏司委員長）は今年2月から、所管事務調査を断続的に実施しています。

主なテーマは、最終処分場が危機的状況に至った経緯の検証に加え、処分場をより長く使用できるようにするための延命策の検討を中心として、今後の網走市のごみ処理のあり方の協議の進捗なども随時調査。これまで計8回を開催し、様々な論点を掘り下げてきました。

そのうち、最終処分場の危機的状況を少しでも改善するための延命策及び、今後の「広域化」や「中間処理としての焼却導入」検討に入る前段階の基礎として、破たんした現行手法を検証することなど、早急に取り組むべき事項14項目を政策提言書として取りまとめ、3月2日、市長に手渡ししました。

4月以降は、令和4年度の予算審査も踏まえつつ、「生ごみの堆肥化処理の阻害要因となっている大量のティッシュや割り箸の混在をどう修正すべきか」など現行のごみ処理方法、分別ルールに関する改善方法についての協議、分別協力率

100%の設定や、処理方法が無いままでの紙おむつの分別等見立てと現実が食い違う当初計画の策定経過の振り返り、生ごみ堆肥化に関する技術導入時の説明と実態の整合性の確認、現行処理方法の運用開始直後から計画との乖離があったにも関わらず、効果的な改善が図られなかったことに対する検証、市廃棄物減量化等推進懇話会での議論経過のヒアリング、他地域で行ったごみ処理広域化の手順の調査などに取り組んできました。

また、現行処理方法の行き詰まりに対して委員会独自の検証を行っていく必要性について合意されており6月20日の調査では①そもそも実現できないような現実と離れた処理計画が

策定された。②市民に協力していただきやすい分別ルールではなかった。③計画策定時においてコンサルタント業者や処理業者の説明・提案に対して、本当にできるのか、という現実と即した検討や異なる視点からのセカンドオピニオンを求めることなく、良い話だけを鵜呑みにした。④紙おむつの分別は収集後の行き場が無いままの「見切り発車」だった。

⑤計画と実態のズレが運用開始後すぐにはつきりしたにも関わらず効果的な改善修正が図られなかった。⑥危機的状況を適時適切に市民に周知してこなかった。⑦まちづくり懇談会や市民向け説明会で出された意見や改善策を反映してこなかった。⑧議会として理事者の説明を

信じてしまった、など11項目の視点が示されました。委員同士の討議の結果、「いずれの項目も検証に必要な視点であり、今後の処理計画を検討していく上でも重要なチェックポイントになる」との見解も示され、順次各項目について必要に応じて個別の掘り下げも行っていくこととなりました。



最終処分場の状況とごみの出し方に関する説明会（エコセンター）